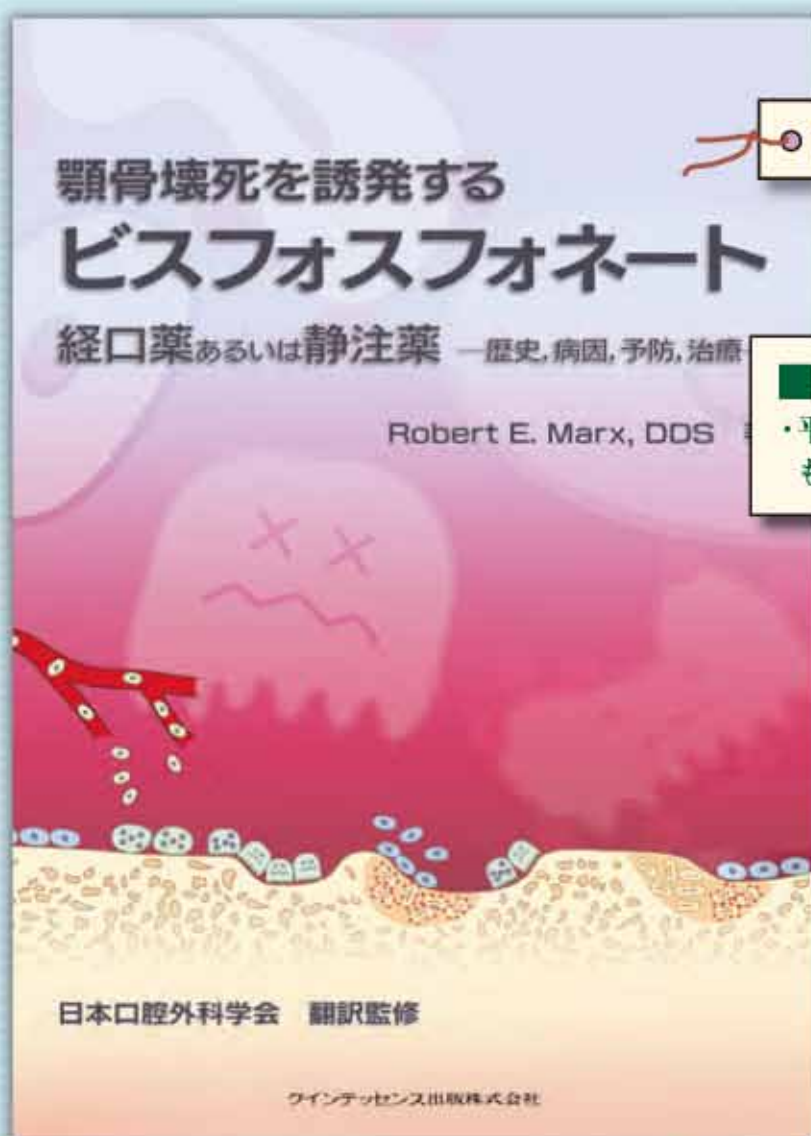


ビスフォスフォネート製剤

が誘発する **顎骨壊死** の対処法を知る

悪性腫瘍や**骨粗鬆症**の治療に有効な**BPs製剤**が、
実は恐るべき**顎骨壊死**を引き起こす。
その驚嘆すべきメカニズムを詳述、
豊富な症例写真で予防、治療、対処法を解き明かす!



日本口腔外科学会 翻訳監修

■著者自身が治療した 巻末の**症例集**
・平均的な開業歯科医を受診しそうな、
もっとも典型的な例を厳選した

CONTENTS

- 1 ビスフォスフォネート誘発顎骨壊死
についての記述と歴史
- 2 ビスフォスフォネート系薬剤の
作用機序と薬物動態
- 3 ビスフォスフォネート製剤の医学的適応
- 4 大理石骨病:
ビスフォスフォネート誘発顎骨壊死との
発生類似性
- 5 ビスフォスフォネート静注薬誘発顎骨壊死の
リスク、予防、処置
- 6 ビスフォスフォネート経口薬誘発顎骨壊死の
リスク、予防、管理
- 7 病的な臨床症例集

●サイズ:B5判変型 ●168ページ ●定価:6,300円(本体6,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

BPs製剤が誘発する顎骨壊死を知る

診断, 治療計画立案の重大な局面で指針となる, 問題解決の手法がここにある



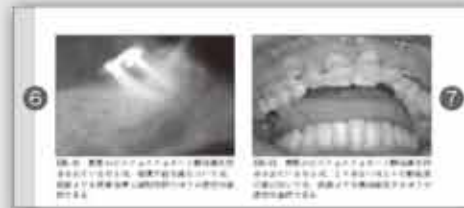
●BPs骨毒性の初期徴候

- ①広範な骨硬化—骨密度の増加がBPsの毒性を示している。
- ②歯槽硬線の硬化は、BPs骨毒性の初期徴候。
- ③歯根腔の拡大も歯槽骨に対するBPs骨毒性の初期徴候。(6章より)



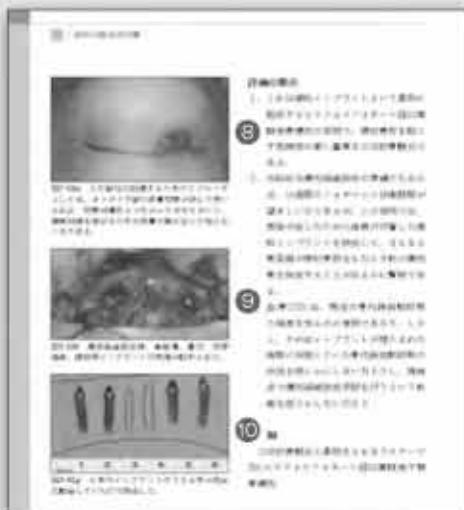
●骨露出は自然発生的にも起こり抜歯など侵襲的処置にも継発

- ④下顎前歯部舌側皮質骨の自然発生的骨露出。
- ⑤抜歯後に現れた治癒不良の骨露出。(1章より)



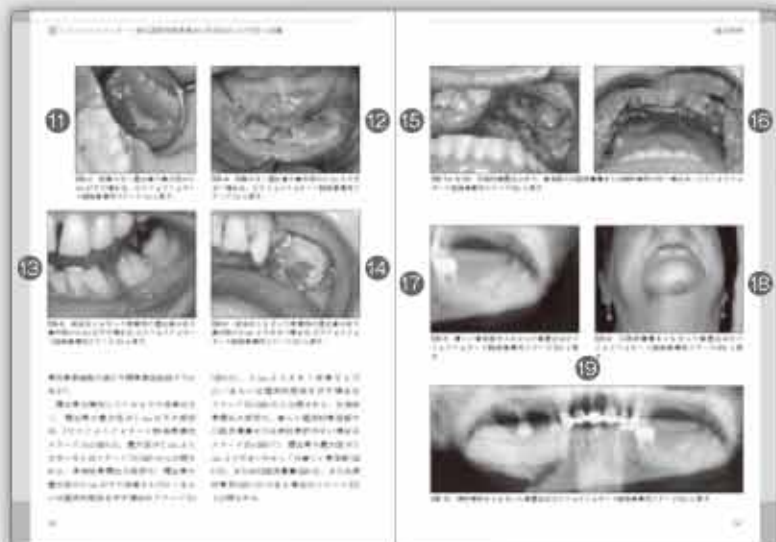
●適切な治療選択とは

- ⑥BPs静注薬投与中, 修復不能な歯は抜歯よりも根管治療と歯冠切断が適切。
- ⑦BPs静注薬投与中, 1+あるいは2+の動揺度の歯は抜歯よりも連結固定が適切。(5章より)



●インプラントに起因したBPs経口薬誘発骨壊死

- ⑧痛み収縮を避けるため皮膚の腫に沿ってオガイ下部の皮膚を切開。
- ⑨壊死組織除去時, 骨破壊, 膿汁, 肉芽組織, インプラントの先端を認めた。
- ⑩6本中4本のインプラントが完全に動揺していたので除去。(7章, 症例10より)



●骨露出から重篤な骨溶解へ

- ⑪ステージIa: 疼痛がなく露出骨の最大径が1cm以下。
- ⑫ステージIb: 疼痛がなく露出骨の最大径が1cmより大。
- ⑬ステージIIa: 感染をともなった有痛性の露出骨があり最大径が2cm以下。
- ⑭ステージIIb: 感染をともなった有痛性の露出骨があり最大径が2cmより大。
- ⑮⑯ステージIIIa: 多発性骨露出があり, 骨溶解や口腔皮膚瘻または病的骨折がない場合。
- ⑰ステージIIIb: 著しい骨溶解をともなった骨露出。
- ⑱ステージIIIb: 口腔皮膚瘻をともなった骨露出。
- ⑲ステージIIIb: 病的骨折をともなった骨露出。(5章より)

(本書より)

きりとり編

注文書

顎骨壊死を誘発するビスフォスフォネート 経口薬あるいは静注薬—歴史, 病因, 予防, 治療—
モリタ商品コード:805350

冊注文します。

●お名前	●医院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は, 弊社の新刊案内, 講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定納入店がない場合は送料を頂き, 代金引換宅急便でお送りさせていただきます。